

もう一つの真実
ストーリー

安吾

2024
Ango

ANGO SAKAGUCHI

安吾の会 2024 読書会

新潟市出身の作家で、太宰治や織田作之助らとともに、「戦後無頼派」として活躍した坂口安吾。『墮落論』や『桜の森の満開の下』などの作品によって、いまも多くの人々に影響を与え続けています。その安吾の作品を読み味わう「安吾読書会」が今年も開催されます。3月から9月までの毎月第2土曜日、16時から18時まで、全7回開催。場所は3月、4月が「ゆいぽーと(旧二葉中学)」で、5月から9月が「新潟教育会館」です。また、同日の13時30分から15時30分まで、「安吾まち歩き」も開催され、安吾の唯一の妻子である坂口綱男さんが案内します。まち歩きと読書会の、両方のご参加も歓迎しています。

日時 / 3月～9月の毎月第2土曜日 16時～18時

会場 / ゆいぽーと(3、4月4階多目的スペース2)

新潟市中央区二葉町2-5932-7 tel.025-201-7530

新潟教育会館(5、6、7、8、9月いずれも2階会議室)

新潟市中央区西大畑町590-3 tel.025-222-2971

参加費 / 500円

申込方法 / 新潟・市民映画館シネ・ウインド(tel.025-243-5530)へ電話にて申込

◆第1回 3月9日(土) 16時～18時 ゆいぽーと

「坂口安吾の天皇論」

案内人：齋藤良助(「安吾の会」会員)

使用テキスト：「墮落論」「続墮落論」「天皇小論」「天皇陛下にさぐぐる言葉」「戦争論」「もう軍備はいらない」

◆第2回 4月13日(土) 16時～18時 ゆいぽーと

「安吾と落語・安吾と新潟弁」

案内人：恩田雅和(和歌山市立有吉佐和子記念館館長・天満天神樂亭アトバイザー)

使用テキスト：「落語教祖列伝」(『坂口安吾全集7』ちくま文庫所収)

◆第3回 5月11日(土) 16時～18時 教育会館

「安吾にとっての矢田津世子」

案内人：西川薫(群馬パース大学看護学部)

使用テキスト：「いづこへ」「二十七歳」「三十歳」「矢田津世子宛書簡」

◆第4回 6月8日(土) 16時～18時 教育会館

「風博士」再読

案内人：加藤達彦(木更津工業高等専門学校・人文学系教授)

使用テキスト：「風博士」ほか

◆第5回 7月13日(土) 16時～18時 教育会館

「安吾その可能性の中心」—新潟論とメディア論

案内人：齋藤和利(学校講師)

使用テキスト：「勝負師」ほか

◆第6回 8月10日(土) 16時～18時 教育会館

「安吾の暗がりの泉から」

案内人：高橋陽子(小説家)

使用テキスト：「桜の森の満開の下」ほか

◆第7回 9月14日(土) 16時～18時 教育会館

「戯れせんとや…」

案内人：蓑崎昭子(桐生タイムス記者)

使用テキスト：「ピエロ伝道者」「FARCEについて」「漂流記」

■街歩き

安吾ゆかりの地めぐり 案内/坂口綱男

坂口安吾の長男で唯一の遺族である坂口綱男さんが、安吾の生家跡や学校をサボって日本海を眺めた奇居旅など、ゆかりの地を案内します。

日時 / 3月～9月 第2土曜日 / 13時30分～15時30分

(3月9日、4月13日、5月11日、6月8日、7月13日、8月10日、9月14日)

集合場所 / 新潟縣護国神社内 安吾碑の前 新潟市中央区西大畑町5932-300

参加費500円 定員10名 事前のお告知なしにイベント内容が変更になる場合がございます

申込方法 / 新潟・市民映画館シネ・ウインド(tel.025-243-5530)へ電話にて申込

問い合わせ / 安吾の会事務局(新潟・市民映画館シネ・ウインド内 tel.025-243-5530)



問い合わせ：安吾の会事務局(新潟・市民映画館 シネ・ウインド内) tel.025-243-5530



林忠彦/撮影

2024 Ango 坂口安吾

(さかぐち あんご)

1906(明治39)年10月20日、新潟市西大畑町に生まれる。旧制新潟中学から東京の豊山中学に編入学、小学校の代用教員を経て東洋大学印度哲学倫理学科卒。敗戦後の46年に「墮落論」を発表、「人間は墮落する。義士も聖女も墮落する」というメッセージが廃墟に佇む人々に衝撃を与え、一躍脚光を浴びる。以後、太宰治、織田作之助らとともに無頼派の旗手として小説、評論、エッセイなど旺盛な創作活動を続ける。日本の伝統主義や権威の欺瞞性を批判する鋭い文明批評を展開し、戦後の文学や思想に大きな影響を与えた。55年2月17日、桐生市の自宅で脳出血のため48歳で死去。主な作品に「日本文化私観」「白痴」「桜の森の満開の下」「不連続殺人事件」。日本の古代史や人々の暮らしを取材したルポ「安吾新日本地理」「安吾新日本風土記」ほか。

安吾の会 2024年 読書会 3月～9月の毎月第2土曜日 16時～18時

第1回 3月9日(土) ゆいぽーと4階多目的スペース2

「坂口安吾の天皇論」

案内人: 齋藤良助(「安吾の会」会員)

使用テキスト: 「墮落論」「続墮落論」「天皇小論」「天皇陛下にさぐる言葉」「戦争論」「もう軍備はいらない」1946年1月1日の天皇の年頭詔書を『人間宣言』と呼ぶ。だが、本当に天皇は人間になったのだろうか。安吾のエッセイを読みながら人間天皇を考える。昭和天皇から明仁上皇へ、天皇の戦後史。

第2回 4月13日(土) ゆいぽーと4階多目的スペース2

「安吾と落語・安吾と新潟弁」

案内人: 恩田雅和(和歌山市立有吉佐和子記念館館長・天満天神繁昌亭アドバイザー)

使用テキスト: 「落語教祖列伝」(『坂口安吾全集7』ちくま文庫所収)
昭和25年8月から翌年3月の雑誌に、安吾は「落語教祖列伝」4編をシリーズで発表。落語の台本なのか、滑稽な内容を書きたかったのか、不思議なタイトルだ。新潟の方言と訛りを会話に多用した理由を探る。

第3回 5月11日(土) 教育会館2階会議室

「安吾にとっての矢田津世子」

案内人: 西川薫(群馬大学看護学部)

使用テキスト: 「いづこへ」「二十七歳」「三十歳」「矢田津世子宛書簡」
安吾は27歳の時に矢田津世子と出逢い、愚直に恋慕した。愚直すぎる恋慕ゆえに生じた安吾の津世子への情愛と憎悪の相反する感情と自我の葛藤について紐解いてみたい。

第4回 6月8日(土) 教育会館2階会議室

「風博士」再読

案内人: 加藤達彦(大塚理工工業高等専門学校・人文系教授) 使用テキスト: 「風博士」ほか
本発表では、昭和6年、坂口安吾文壇デビューのきっかけとなった短編「風博士」をファルス/笑い/仏教/(反)探偵小説/作品構造/語り/文体論/芸能文化/映画史……といった多様な観点から再読してみたい。(結果、私たちは風博士の旋風とともに「不思議の環」に巻き込まれることになるだろう。)

第5回 7月13日(土) 教育会館2階会議室

「安吾その可能性の中心」—新潟論とメディア論

案内人: 齋藤和利(学校講師) 使用テキスト: 「勝負師」ほか

坂口安吾は不思議な人。その作品、言説、行動は後世の人々に多大な影響を与え、文学界のみならず他方面に大きな功績を残した。一方、世上の評価は揺れ動き、知名度も業績に追い付いていない。新潟が生んだ不世出の天才の映像を視聴し安吾曼茶羅世界を覗き観る。

第6回 8月10日(土) 教育会館2階会議室

「安吾の暗がりの泉から」

案内人: 高橋陽子(小説家) 使用テキスト: 「桜の森の満開の下」ほか

小説に限らず、優れた芸術作品は、無意識の深い層に漂うものを掘んだような気がします。安吾の作品は言葉で書かれていながら、言葉にできない不可視なるもののある不思議。その深淵について考えてみたいと思います。

第7回 9月14日(土) 教育会館2階会議室

「戯れせんとや…」

案内人: 蓑崎昭子(桐生タイムス記者)

使用テキスト: 「ピエロ伝道者」「FARCEについて」「漂流記」
空にある星一つ、欲しいと思ふ人と。蛙飛び込む水の音が聞こえるだろうか。ダンゴちゃんが見たものは何だったのか。 P e s t e !

●読書会各回の内容は変更になる場合があります。

◆第70回「安吾忌」のご案内

コロナで開催を控えていました東京の「安吾忌」(第70回)を、3年ぶりに開催いたします。(坂口綱男)

日時/ 2024年2月17日(土)18時30分～21時

会場/ 「BISTRO Kuu 神保町(ビストロクウ)」

東京都千代田区神田神保町1-41 駿河台下MKビル2F
tel. 050-5828-7292

<https://tabelog.com/tokyo/A1310/A131003/13119785/>

会費/ 7,000円

申込方法/ お名前・ご住所・電話番号、ご同伴者がいる方はそのお名前も併記の上、1月末日までに下記メールにご送信下さい。定員になりしだい受付終了します。

安吾忌申込専用メールアドレス

heigo_sakaguchi@ybb.ne.jp

◆新津「安吾忌」のお知らせ

2月17日の安吾の命日に新潟市秋葉区で行われる安吾忌についてご連絡します。

日時/ 2月17日(土) 13時30分～

第1部/ 記念講演「生き生き生きて～安吾のいる桐生～」

講師: 蓑崎昭子・場所/ 新津地域学園201研修室

第2部/ 墓参 大安寺坂口家墓所

第3部/ 懇親会 参加費5000円(会場は参加者に追ってご連絡します)

申込先/ 〒956-0816 新潟市秋葉区新津東町2-5-6

新津地域学園2F阿賀浦コミュニティ協議会

方法/ はがき・FAX(0250-25-7655)、

メールアドレス: agauracomikyo@coral.plala.or.jpなどで

※2月10日までに申し込み下さい。

◆阿賀浦コミュニティ協議会による講演会

阿賀浦コミュニティ協議会では安吾講座を下記により予定しています。

日時/ 5月～11月までの隔月の第4土曜日、13時30分～15時

第1回(5月25日)、第2回(7月27日)

第3回(9月28日)、第4回(11月23日)の計4回開催

それぞれの案内人、テーマと内容に関しては追って告知致します。

会場/ 新津地域学園201研修室

新潟市秋葉区新津東町2丁目5番6号 tel.0250-22-0916

参加費/ 無料 申込方法/ 担当湯田まで(tel.080-1251-8096)

<安吾の会>

安吾の会は、1986(昭和61)年にA(ANGO)プロジェクトとして発足し、1987年10月20日に安吾の会となりました。以後、毎年の読書会、10月20日の安吾生誕祭などを企画・運営。季刊「安吾雑報」を発行するなどの活動を行っています。また、1月2月と10月から12月の毎月第1火曜日19時から、中央区礎町のクロスバル新潟にて定例会を行っています。